

平成23年度個別施策ヒアリング資料(優先度判定)【総務省】

施策番号	20003	施策名		新世代通信網テストベッド(JGN-X)構築事業			
新規／継続	新規	領域	共通基盤	国際的位置付け	世界最先端	AP施策	
競争的資金		e-Rad		社会還元	－		
施策の目的及び概要	セキュリティ、エネルギー消費等の現在のネットワークが抱える問題を抜本的に解決する新世代ネットワークの実現に向けて、要素技術を統合した大規模な試験ネットワークを構築し、新世代ネットワークの実証・評価を実施し、システム技術を確立する。						
達成目標及び達成期限	2015年度末までに、2020年代の新世代ネットワークの実用化の目途をつけ、国際競争力の強化を図りつつ、更なる経済成長を実現することを目標とする。						
研究開発目標及び達成期限	2015年度末までに、新世代ネットワークのシステムの基本設計を確立する。						
23年度の研究開発目標	・本施策により、平成23年度中に、新世代ネットワークの要素技術を統合したプロトタイプの実験ネットワークを構築し、新世代ネットワークに関するシステム試験環境を確立する。 ・新たなアーキテクチャの性能検証を開始する						
施策の重要性	新世代ネットワークの実現に向けて、米国(NSF)や欧州(FP7)をはじめ、各国において産学官の総力を挙げて熾烈な研究開発競争が繰り広げられている状況。世界に先駆けて新世代テストベッドネットワークを構築し、実現化の目処をつけることにより、ネットワーク研究開発競争での主導権を確保し、ICTIによる更なる経済成長を実現する必要がある。						
実施体制	研究開発主体は独立行政法人情報通信研究機構。通信事業者、メーカー、研究者が広く参画できるオープンな体制を構築して推進。構築した試験ネットワークを技術評価環境(テストベッド)として広く産学官に開放。さらに、海外の研究機関(米国、欧州、インド、豪州等)との接続により、戦略的な国際共同研究・連携・標準化を推進する。						
H22予算額(百万円)				H23概算要求額(百万円)			
－				5,349			
独立行政法人名(運営費交付金施策のみ)				NICT			
H23概算要求額の内訳	－ 人件費:145 (プロジェクトリーダー1人、プロジェクトサブリーダー7人、研究員14人) 機材費:1,991 (機器試作費 1,991) テストベッドネットワーク設計・構築費等 3,213						
期間	H23～H27			資金投入規模(億円)		237	
これまでの成果(継続のみ)	インターネット網に関するネットワーク技術等の実証・評価や研究開発を推進及びマルチキャリア・マルチベンダ環境のもとでコアネットワーク等の技術実証・評価を推進したことにより、ネットワーク機器の実用化・高度化や通信ネットワークの高度化をタイムリーに実現。						
社会情勢・技術の変化(継続のみ)	・電話、インターネット等の現在の通信ネットワークは、セキュリティ、エネルギー消費等の課題を抱えている状況。 ・米国や欧州等においても、2015年頃の技術確立に向けて総力を挙げて、テストベッド構築及び研究プロジェクトを推進中。						
昨年度優							

先度判定 (継続のみ)	—	優先度判定時の指摘 への対応(継続のみ)	
国民との科学・技術対 話推進への対応(対象 施策のみ)	広く内外の関係者の参画を可能とするとともに、セミナーの開催、新世 代ネットワーク推進フォーラムWEBサイトでの情報公開等により、広くア ウトリーチ活動を進めていく予定。		